

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<http://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

安保法案 可決強行



衆院平和安全法制特別委で安全保障関連法案の採決に抗議する野党議員。中央は浜田委員長＝15日午後0時23分

衆院特別委

与党単独、野党は抵抗

あすにも本会議可決、参院へ

集団的自衛権行使の解

禁を柱とする安全保障関連法案は十五日午後、衆院平和安全法制特別委員会

成立させる構えた。野党議員が採決反対を訴えるプラカードを掲げ、怒号が飛び交う中で、与党は採決に踏み切った。国会前では、十五日朝から市民ら数百人が反対の声を上げた。

会

首相は「批判に耳を傾けつつ、確固たる信念があればしっかり政策を前に進めていく必要がある」と述べ、法案成立への決意を表明した。憲法違反との批判が強い集団的自衛権の行使を「合憲だと絶対的な確信を持っている」と訴えた。

院審議を経て今国会中に

民主党の長妻昭代表は「強行採決は到底認められない」と反発した。

可決・衆院通過させ、参

維新の党が提出した対案も採決され、与党の反対多数で否決された。

院審議を経て今国会中に

民主党は十五日朝、国会内で幹部会合を開き、野党で歩調を合わせて質疑に出席し、採決先送りを求めると決めた。

安保関連法案のポイント

- 歴代政権が憲法9条に基づき認められないとしてきた集団的自衛権の行使を解禁
- 自衛隊法や武力攻撃事態法など10の改正案を一括した「平和安全法制整備法案」と、国際紛争に対処する他国軍の後方支援を随時可能とする新法「国際平和支援法案」の2本で構成
- 周辺事態法改正で自衛隊活動の地理的制約を撤廃。米軍以外の他国軍も支援